

イスラエルがパレスチナ・ガザ市民の虐殺を始めてから 3 か月が経ちました。ガザ地区への地上侵攻、無差別攻撃で、すでにガザ住民の死者数は 2 万 5105 人(1月21日・東京新聞)に達し、その約 4 割が子どもです。イスラエルは「2024 年も戦闘は続く」と主張し、ガザ占領をも狙っています。また、日本政府はイスラエルの国際人道法違反を認めず、自衛隊機を派遣し、軍事技術協力をを行うなど、イスラエルに加担しています。世界各地で「今すぐ停戦」の声が高まり、反戦デモが広がっています。国際連帯の力で、世界各地で戦争を進めようとするすべての勢力を封じ込め、平和をつくり出すときです。

岸田政権は能登半島大震災への対策でも、初動が遅れ、物資・食糧・医療などが届かず、被災者の命と生活が脅かされています。その一方、軍事費は約 8 兆円を計上し、「台湾有事」、朝鮮脅威を煽り、琉球弧(南西諸島)への軍事要塞化を強行しています。また全国の自衛隊基地の強靱化、日米による大規模な軍事演習を繰り返すなど戦争準備を加速しています。

海に囲まれた沖縄は逃げ場がなく、一度、戦争が起きれば、多くの住民の生活や命が奪われます。「今日のガザは明日の沖縄」との危機感から沖縄を再び戦場にさせないと開催された「11.23 県民平和大会」には1万人が集まり、東京、大阪など全国 10 か所以上で連帯集会が開催されました。辺野古新基地建設は、軟弱地盤の問題で完成が見通せません。しかし、国は沖縄県との対話に応じず、「代執行」で設計変更を強行し、民意を無視し 1月10 日より工事を再開しています。これは民主主義と地方自治の破壊です。キャンプ・シュワブゲート前では抗議集会に 900 人が参加するなど、戦争に反対する市民により粘り強い闘いが続けられています。

2024 年を平和をつくり出す年に行きましょう！

ウクライナ・パレスチナ戦争の即時停戦を！ 3.20 シンポジウム

- 3月20日(水・休) 午後1時開始
- 日比谷コンベンションホール大ホール
- パネラーのお話、参加者の交流
- 参加費 大人 700 円 学生 500 円
(ズーム視聴あります)



- ・伊勢崎賢治さん
- ・羽場久美子さん
- ・石原昌家さん

呼びかけ人・団体

- 阿部治正 (流山市議会議員)
- 有賀誠一 (日野市議会議員)
- 石原昌家 (沖縄国際大学名誉教授・平和学)
- 海勢頭豊 (沖縄シンガーソングライター)
- 具志堅隆松 (ガマフヤー)
- 小西誠 (軍事ジャーナリスト)
- 斎藤貴男 (ジャーナリスト)
- 西岡信之 (沖縄国際大学・平和学担当元非常勤講師)
- 野中章弘 (早稲田大学教員・ジャーナリスト)
- 羽場久美子 (青山学院大学名誉教授)
- 前田朗 (朝鮮大学法律学科講師)
- 矢野秀樹 (無防備地域宣言運動全国ネットワーク)
- 綿井健陽 (ジャーナリスト・映画監督)
- ZENKO 関東実行委員会

【主催】

- 3.20 シンポジウム実行委員会
- お問い合わせ先：立山正隆

090-9142-6180 メール：1953math@gmail.com



日比谷図書文化館 地下1階

- ◆呼びかけ人・賛同人募集中!
- ◇実行委員会に参加してください。
2月23日(金・休) 15:10 ~ 16:10
大田区消費者生活センター 第6集会室